

市勢進展に尽くした 16人を表彰

市勢功労者

市は、市勢の発展に尽力された16人の皆さんを市勢功労者として表彰します。
合併して以来、初の表彰となります。
表彰式は11月3日、行われます。

* 自治功労

浅井東兵衛さん(83)

萩荘字金ヶ崎



平成17年9月の新「一関市」誕生後、初代一関市長に当選され、21年10月までの

1期4年間在職。合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのためや岩手宮城内陸地震の復興に献身的に尽力されました。
「合併しても市が一体にならなければ力が十分に発揮できない。早く一体感を出したいと、力を合わせるよう働きかけ、これを理解してもらったことができた。皆さんのおかげで新しい市の基礎づくりができた」と振り返られました。

* 自治功労

坂本紀夫さん(69)

萩荘字高梨北方



平成17年9月の新「一関市」誕生後、初代一関市助役に選

任。21年10月までの1期4年間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成のため、市長の補佐役として新市の基礎固めや岩手宮城内陸地震の復興に献身的に尽力されました。
「合併前の市町村のそれぞれが行ってきた事務処理を統一すること、また、職員意識改革により早期に一体感を醸成しなければとの思いで努めた」と振り返られました。

* 自治功労

佐藤正勝さん(66)

山目字才夫



平成17年9月の新「一関市」誕生後、一関市収入役に選任。21年10月までの1期

4年間、一体感の醸成や合併直後の市財政の健全運営、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
おとし発生した岩手宮城内陸地震の復旧と復興への取り組みに触れ、「災害がないと感じないが、安心安全なまちづくりの必要性を改めて感じた」と振り返られました。
また「収入役として安全な資金確保などを一番心がけた」と述べられました。

* 自治功労

田野崎捷吾さん(72)

花泉町涌津字中町



平成17年9月の新「一関市」誕生後、同年10月に一関市花泉地域自治区長に就任。

20年3月まで2年5カ月間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
今回の受賞を「私個人というより皆さま方の代表として受けたものと思っっている」と語られ、合併までの道のりを振り返り、「合併実現のため30数回の懇談会を開催したが、当時はとても大変だったことを思い出している」と述べられました。

* 自治功労

小原伸元さん(75)

大東町摺沢字間明田



平成17年9月の新「一関市」誕生後、同年10月に一関市大東地域自治区長に就任。

19年10月まで2年間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
「これまでのことは、すべて住民の方々と一体の中でこそ成し得たこと。改めて住民の皆さんに感謝したい。これからの一関市が結ぶべき精神を持って住民が力強く結びつき、着実に発展していくことを願っている」と語られました。

* 自治功労

菊地宏雄さん(67)

千厩町千厩字構井田



平成17年9月の新「一関市」誕生後、同年10月に一関市千厩地域自治区長に就任。

20年3月まで2年5カ月間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
「千厩町長時代には、市町村合併という流れの中で地方自治の大きな転換期があり、新しい地方自治の確立のために腐心させてもらった。合併後は自治区長として、住民自治の確立と地域経済の活性化に力を注がせてもらった」と語られました。

* 自治功労

松川誠さん(75)

東山町松川字一市町



平成17年9月の新「一関市」誕生後、一関市長職務執行者に就任。合併直後にお

ける市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
これまでの職責を振り返り、「地域の皆さんに支えられ、職員に恵まれたからこそ職務を務め上げられた。今日の地域は、こういう方々が流した汗のおかげで成り立っているのであり、今回の受賞は、皆さんを代表していたのだと受け止めています」と述べられました。

* 自治功労

佐藤久耕さん(69)

東山町長坂字南山谷



平成17年9月の新「一関市」誕生後、同年10月に一関市東山地域自治区長に就任。

20年3月まで2年5カ月間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
「地域の皆さんと、良き職員に支えられて仕事をしてこられたので、私というより、地域がいただいたものだと思っっている。皆さんに感謝したい。特徴を生かしながら、一関市が活力ある中東北の拠点として力強く発展することを願っている」と述べられました。

* 自治功労

小山寛さん(75)

室根町折壁一丁目



平成17年9月の新「一関市」誕生後、同年10月に一関市室根地域自治区長に就任。

20年3月まで2年5カ月間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
「住民の皆さんから合併して良いことがないと言われないよう、住民福祉の向上に努めた」と振り返り、「受賞は身に余る光栄。雇用少子高齢化など課題が山積する中、健全財政を維持しながらも、課題解決に向けていたきたい」と市政への期待を語られました。

* 自治功労

千葉荘さん(61)

川崎町薄衣字諏訪前



平成17年9月の新「一関市」誕生後、同年10月に一関市川崎地域自治区長に就任。

20年3月まで2年5カ月間在職し、合併直後における市民の不安の解消や一体感の醸成を図り、新市の基礎固めのために献身的に尽力されました。
これからの一関市のまちづくりについて、「住民の方々が生き生きと生活し、夢と希望を持ち、将来の姿が描けるようなまちに、また、新市として一体感のある地域づくりができることを念願します」と語られました。